

# 持続可能な農業の実現に向けて

政策提言先 農林水産省

## 政策提言の要旨

農業は、国民に対する食料の安定供給という極めて重要な役割を担っています。

一方で、近年、担い手の減少に拍車がかかっていることに加え、自然災害等のリスク増大、原材料や生産資材等の価格高騰など、我が国の農業を取り巻く状況は、大きく変化しており、このままでは、多くの農家は経営継続が困難となり、また、農業を志す若者も大幅に減少することになり、成長産業化を目指す我が国の農業は衰退することになります。

このことは、食料の安全保障を揺るがす事態となるだけでなく、耕作放棄地の増加による農地の公益的機能の一層の低下や、集落の活力・機能の低下による集落消滅の危機につながります。

こうした状況に陥らないためには、「持続可能な農業の実現」が不可欠です。

については、そのための重要な取り組みとなる『再生産が可能となる「生産コストを反映した農産物の適正な価格形成」』と、『内外の環境変化などに打ち勝つことのできる「農業の構造転換」と「セーフティネットや緊急対策の充実・強化」』を図ることについて、以下のとおり提言します。

## 【政策提言の具体的内容】

### 1 再生産が可能となる「生産コストを反映した農産物の適正な価格形成」

現在、見直しの検討が進められている「食料・農業・農村基本法」において、食料安全保障の強化のための重点対策として、「生産コストを反映した農産物の適正な価格形成」を位置づけること。

あわせて、生産者、食品事業者、消費者など、様々な立場による国民的議論を踏まえて、実効性のある具体の仕組みを構築すること。

### 2 内外の環境変化などに打ち勝つことのできる「農業の構造転換」と「セーフティネットや緊急対策の充実・強化」

○ 農業の構造転換が図られるよう、省エネ技術の導入などによるコスト削減や、デジタル機器の活用などによる生産性向上等の取り組みへの支援策を強化すること。

○ 経営に及ぼす資材価格の高騰等の影響を緩和するため、次の対策を講じること。

#### ① 配合飼料価格安定制度の充実

- ・ 異常補填基金が枯渇することのない十分な予算の確保
- ・ 配合飼料価格が高止まりしている状況においても一定額の補填が発動するよう、設けられた「新たな特例」の恒久化・充実

#### ② 生乳取引価格に飼料コスト等の変動分を反映できる仕組みづくり

- ・ 生乳取引価格に飼料コスト等の変動分を反映しやすくするための環境整備を早期に図ること

#### ③ 肥料価格高騰対策の継続と制度の見直し

- ・ 肥料価格高騰による農業者の負担を軽減するための「肥料価格高騰対策」の継続と、申請に係る事務負担の軽減のための制度の見直し

④ 外国からの輸入に頼っている肥料や飼料などの原料の安定確保対策及び国内資源化の推進

- ・ 耕畜連携による稲WC Sや配合飼料用とうもろこしの増産など、国産飼料の生産基盤対策の継続・強化
- ・ 配合飼料用とうもろこしについて、各産地から飼料メーカーを通して、全国の畜産農家に供給できるよう、飼料用米と同様の全国的な集荷・流通体制の構築
- ・ 国内で調達できない肥料原料の調達先国の多角化や国内備蓄等、安定確保対策の推進
- ・ 家畜ふん堆肥や下水汚泥資源からの肥料成分回収など、国内資源の利用拡大対策の推進

**【政策提言の理由】**

- ・ 現在の肥料や飼料、資材等の異常な価格高騰は、当面続くものと見られていますが、大幅なコストの増加分が農産物の価格に十分に反映されておらず、経営が悪化しています。
- ・ また、自然災害や家畜伝染病などの様々なリスクが増大しており、我が国の農業を取り巻く状況は厳しくなっています。
- ・ このままでは、農家の多くは、経営継続が困難となり、また、農業を志す若者が大幅に減少することになります。
- ・ 我が国の農業が、様々なリスクに直面する中でも、将来にわたり、持続可能なものとなるためには、再生産が可能となるよう、生産コストを反映した農産物の適正な価格形成が図られることが重要です。
- ・ また、農業者のコスト削減や生産性向上等の取り組みを支援することにより、農業の構造転換を図ることも重要です。
- ・ あわせて、国においては、様々な農業経営のリスクに備えるためにセーフティネット制度を構築するとともに、資材等の価格高騰に対する緊急対策を時機を逸することなく、実施いただいておりますが、経営に及ぼす影響を緩和するためには、さらなる充実、強化が必要です。